

くにたち・梨園ボランティア

東京都国立市

地元の梨を守りたい！
まずはこの味を知ってください。

国立市には現在、十軒の梨園がある。四十年ほど前には三十軒もあった梨園が、高齢化、後継者不足で、離農に追い込まれた。地元の梨農家を守るため、ボランティアが花粉付け、摘果、袋がけなどを行う。まずは、国立にもおいしい梨が生産されているということを知ってもらおう。そして買ってもらう、それが梨園を支えることにもつながるのだ。

リポーター／編集部



DATA
 代表：稲松亮
 事務局：国立市富士見台団地
 2-1-303 平塚慶治
 TEL：042-574-8570
<http://www13.plala.or.jp/knv/>
 創立：2001年
 スタッフ：通年スタッフ16名
 年会費：通年スタッフ 2000円
 アクセス：JR南武線谷保駅より
 徒歩10分

矢川駅 JR南武線 谷保駅
 国立府中IC
 中央自動車道
 至新宿
 至立川

梨園がなくなれば「緑」もなくなる……

「一軒の農家が梨園を辞める、となると国立の梨そのものだけでなく、この緑も失われてしまっんですよ」と語るの代表の稲松亮さん(七三歳)。二〇〇一年、一軒の梨農家が離農したのをきっかけに、地元・国立を思う元会社員の稲松さんが、親子で梨栽培をする知人の佐藤茂さん(七三歳)、英明さん(四四歳)親子に相談をもちか

けた。人手不足に悩んでいた佐藤さんたちも手伝いの申し出に賛成し、ボランティア活動がはじまった。農園の方からの要請を受けてお手伝いをする、園主さんの指導通りに作業をするのが会の基本である。

工夫と努力いっぱいのおいしさを知ってほしい

「無心になって作業をするって普段なかなかないでしょ。それが逆に新鮮で、ストレス発散に

なるんです」と笑うのは、現役サラリーマンの井上さん(五八歳)。「引越してきた時に、これに参加すれば知り合いができる、と思って家族で参加した身勝手なボランティアなんです」と谷夫妻。一同が口をそろえるのは、「農家の方々の智慧と努力、おいしい梨作りへの工夫には、本当に頭が下がる」ということ。だからこそ、スタッフ一同、多くの人にこの梨を食べて、おいしさを知ってほしいと思うのだ。

はじめる！情報

買ってください！おいしい梨ボランティアと
いっしょに育てた「くにたち」の梨

「おいしくなあれ」と
思いを込めて育てました！



8月から予約受付開始！

■お届け時期と種類■

主な品種と時期：幸水(8月上～下旬) 稲城(8月中旬～9月上旬) 豊水(8月下旬～9月上旬) 秀玉(8月下旬～9月上旬) 20世紀(9月上～中旬) 新星(9月上～下旬) 新高(9月下旬～10月上旬)

■価格■ 5Kg、8Kg、10Kg、15Kgの箱詰めになります(1Kg500～600円くらいが目安)。

■問い合わせ先■ JA東京みどり 国立支店経済センター TEL：042-572-0078 ※ここから国立市内の梨園マップをお送りします。マップを見て、ご希望の梨園へ直接、申し込みください。

■お届け・お支払い方法■

基本は宅配便。商品到着後、振り込み。※申込時にお問い合わせください。

■ご注意■ 梨の販売については、各梨園と読者の了解のもとに注文をお願いします。万一、トラブルが発生しても、「のんびる」では関与できませんのでご了解ください。

ボランティアスタッフも随時募集中！

「中腰が多いため重労働ですが、だからこそ、多くのボランティアスタッフを」(スタッフより)。

■参加方法■ 事務局(担当：平塚 TEL.042-574-8570)にご連絡ください。

■作業時間■ 日によって異なりますが、午前(9時～12時)、午後(13時～16時)を目安とし、都合に合わせて決めることができます。

■主な作業■ 時期によって異なります。花粉付け、摘果、袋がけ、網張り、せん定など。